

伐採作業による造園業者作業員の負傷災害について



- ✓ 造園業者の作業員が、東京電力パワーグリッド株式会社（以下、弊社）の電柱付近の樹木を高所作業車を用いて除去する際に、**感電・墜落した**もの

※感電原因については警察とともに調査中



- 発生日
2025年8月1日（金）
- 被災者情報
作業員
※電線を認識した上で伐採作業を実施していた
※過去にも建設工事用防護管を取付せずに作業していた
- 被災者の装備
ヘルメット、作業服、作業用手袋、
アームカバー（チェーンソー使用のため）、安全带、ハーネス

<感電災害を防止するために>

- ◆ 弊社の電柱に昇柱しないようお願いいたします。
- ◆ 弊社設備付近での作業を要する場合は、**建設工事用防護管の取付**※をお願いいたします。
- ◆ 弊社設備（電柱・電線など）に対する作業は実施せず、弊社へご連絡をお願いいたします。
※建設工事用防護管を取付しても、電線へ接近することはできません。



(参考) 電柱昇柱伐採作業による造園業者作業員の負傷死亡災害について

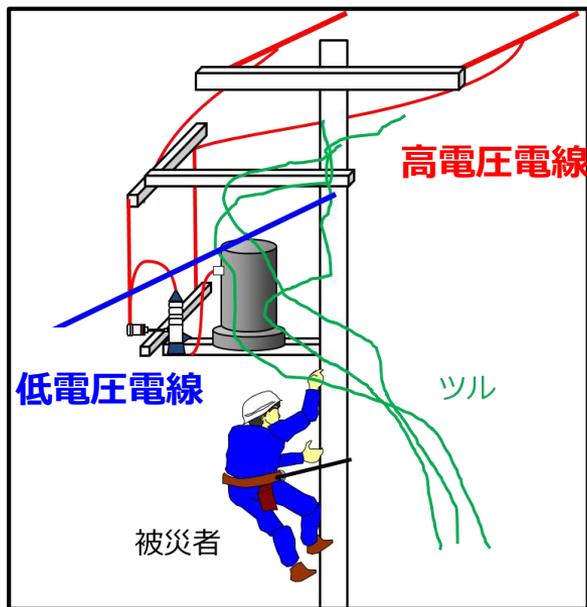
- ✓ 造園業者の作業責任者が、東京電力パワーグリッド株式会社（以下、弊社）の電柱付近の樹木やツルを除去するため昇柱し、**感電（推定）、死亡した**もの

※感電原因については警察とともに調査中

現場状況



被災時の状況（推定）



- 発生日
2024年11月7日（木）
- 被災者情報
作業責任者
※危険性を把握した上で昇柱
※過去にも昇柱伐採を実施したとの情報あり
- 被災者の装備
作業服、作業用手袋、
安全帯、ハーネス

<感電災害を防止するために>

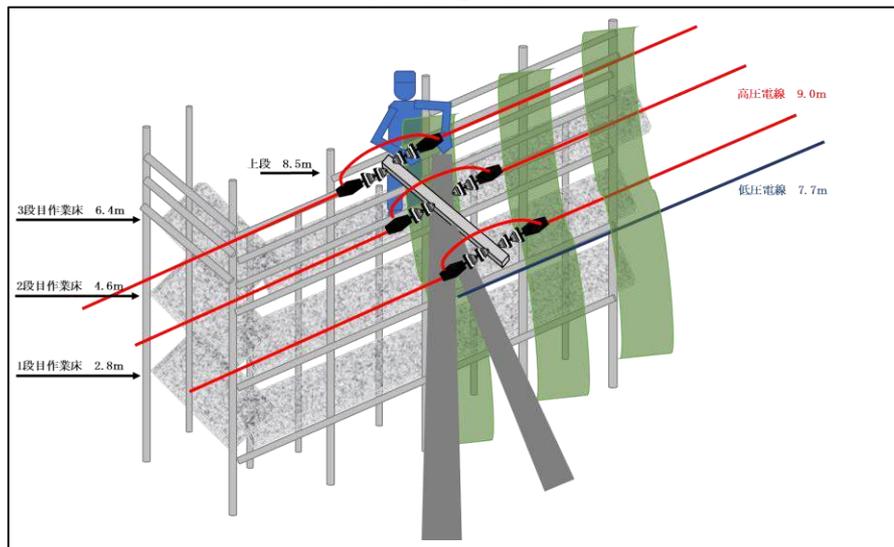
- ◆ 弊社の電柱に昇柱しないようお願いいたします。
- ◆ 弊社設備（電柱・電線など）に対する作業は実施せず、弊社へご連絡をお願いいたします。
- ◆ 弊社設備付近での作業を要する場合は、**建設工事用防護管の取付※**をお願いいたします。

■ 発生日時 : 2023年8月1日 (火) 12:00頃

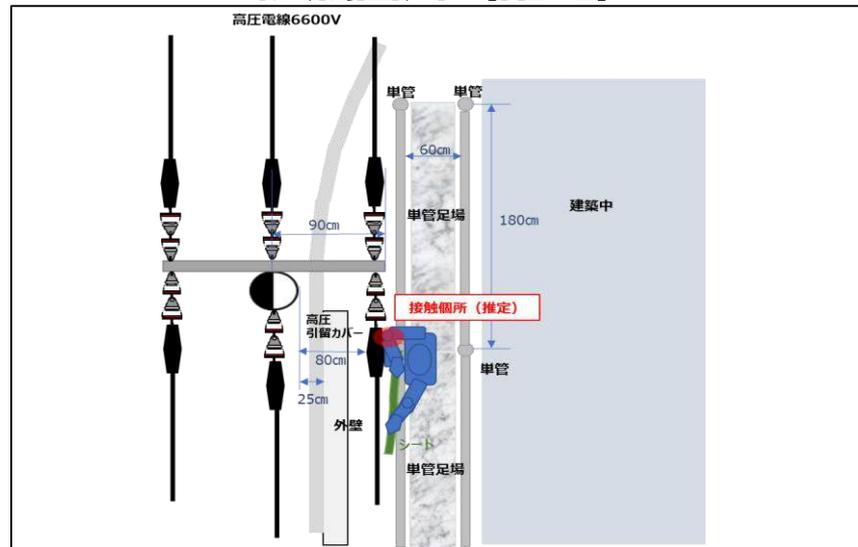
■ 発生概要

建築足場組立工において、建築足場にシート取付の際、**高圧線に接触し感電、墜落**

現場状況



接触箇所 (推定)



● 被災者情報

建築作業員
(経験年数 1年)

● 被災者の当日服装

- ・ヘルメット
- ・作業着 (長袖・長ズボン)
- ・安全靴
- ・ハーンズ未着用
 - ※ 墜落により骨折多数
 - ※ 感電による火傷あり

● 設備状態

- ・**単管足場と高圧線接触！！**
- ・**単管足場で電線を押している状態です。**

感電災害を防ぐために

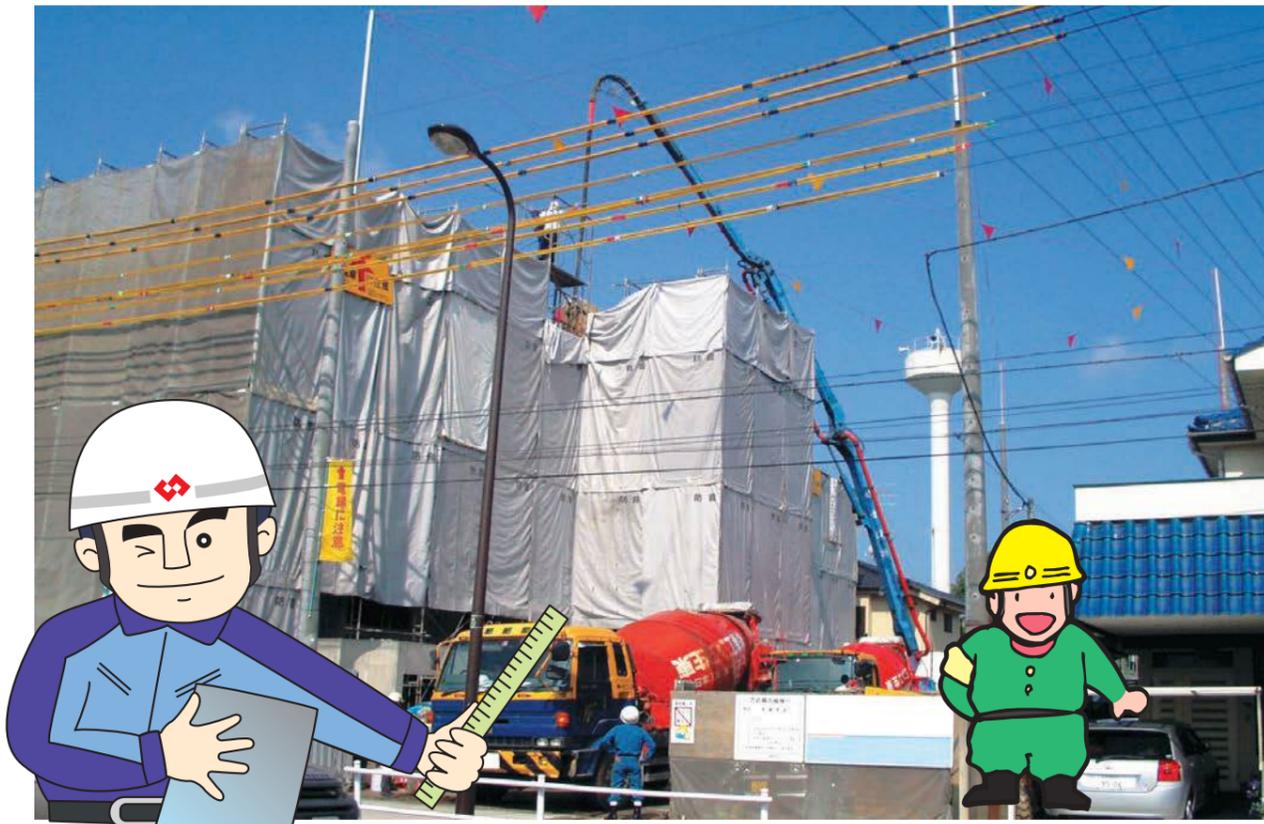
移動式クレーン・コンクリート圧送車等をご使用される皆さまへ



東京電力パワーグリッド

お近くの東京電力パワーグリッドへ

電線の付近で移動式クレーン、圧送車等を使用される
ときは、必ずお近くの東京電力パワーグリッドへ連絡を
お願いします。
《その1本の電話が、事故・災害を防ぎます》



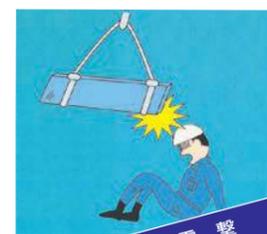
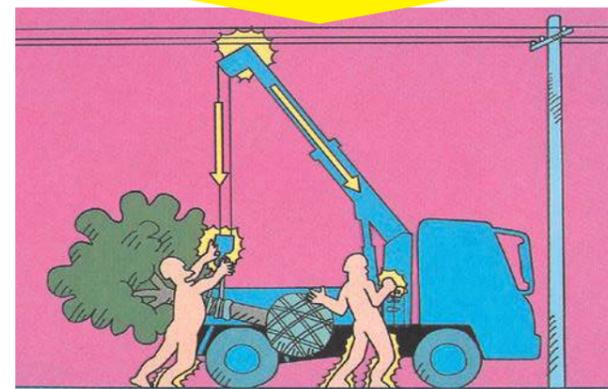
- ◆電線の近くで作業をされる場合には感電をさけるために
 - 電力会社と作業計画の事前打ち合わせを行うこと
 - 関係作業者に対し、感電の危険性と作業標準を周知徹底させること
 - 電線に対して、安全な離隔距離を保つこと
 - 監視責任者を配置すること
 - 危険を防止するための囲いを設けること
 - 当該電線路に絶縁用防護管を装着すること
- などが **労働安全衛生規則・行政指導通達** で皆さまに義務づけられております。
- ◆そこで東京電力パワーグリッドでは移動式クレーン、圧送車等を使用して作業される皆様方に
 - クレーン、圧送車等と電線の間にはどのような危険が潜んでいるのか
 - 具体的にどのように感電災害を防ぐか
 について作業箇所へ伺い、お打ち合わせを行い、感電災害の防止に協力させていただきます。
- ※当社からのお願いに、ご協力いただけない場合には、所轄の労働基準監督署に連絡させていただくことがあります。

あっ危ない!!



電線(配電線)に接触すると

車体やワイヤーなどを伝って電気が流れ、感電してしまいます



電撃



火傷



心臓麻痺



感電時の着穿衣服

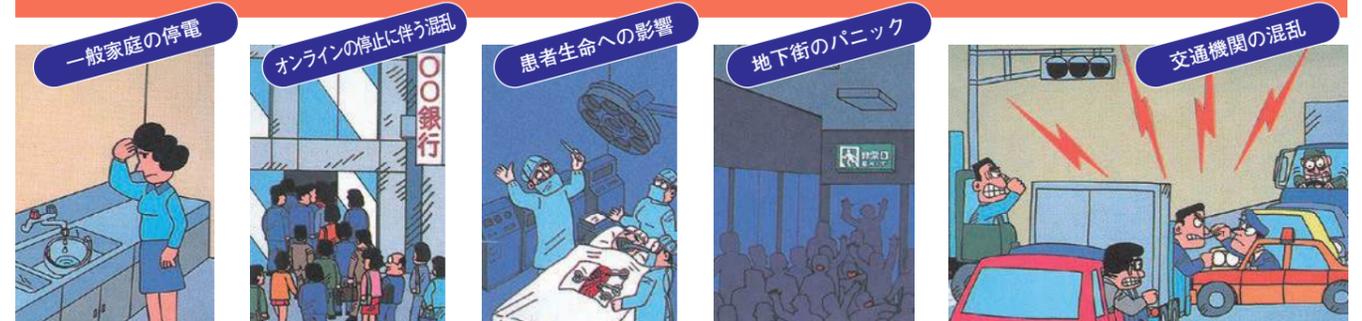


電線(送電線)に接近すると

電線に近づいただけで放電がおり電気が流れ、感電してしまいます



作業者の感電災害・停電事故を引き起こします



一般家庭の停電

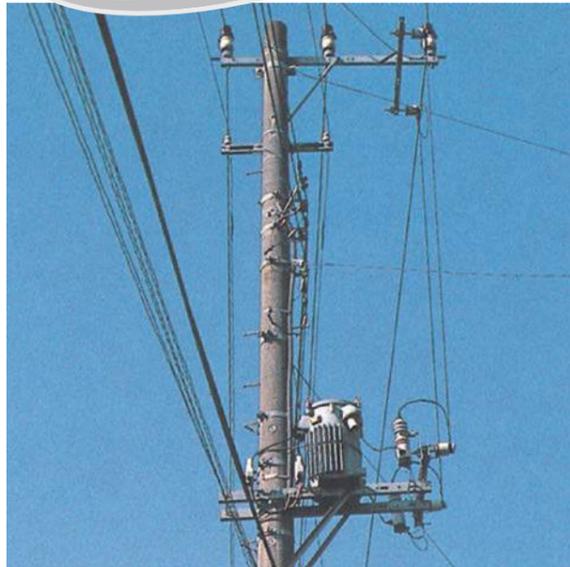
オンラインの停止に伴う混乱

患者生命への影響

地下街のパニック

交通機関の混乱

〈配電線〉



配電線を支える支持物は主にコンクリート柱が使われています。

電柱付近で作業をする場合は

◎接近を防止する目印として、電線に防護管を取り付ける必要があります。

- ・防護管取り付け後も、安全な離隔距離の確保をお願いします。
- ・充電線路接近作業となるため、東京電力パワーグリッドにて取り付けます。
- ・取付けのお申込みは、3週間前までにご連絡をお願いします。
- ・建設工事用防護管は、お客さまに御用意いただきます。

	電 圧	東京電力パワーグリッドがお願いしている安全な離隔距離
配電線	100 V・200 V	2 m
	6,600V	2 m
送電線	22,000V	3 m
	66,000V	4 m
	154,000V	5 m
	275,000V	7 m
	500,000V	11 m

送電線付近で作業する場合は

◎接近を防止する目安として、防護施設ならびに注意標識類を設置する必要があります。

- ・送電線は裸線のため、接近するだけで、感電する恐れがあります。
- ・送電線は電圧が高いため、防護管の取り付けができません。
- ・送電線への接近を防止するには、作業現場の上空に、目安となるネットやロープ等の防護施設を設置することが、最も有効な安全対策です。
- ・感電防止措置はお客さまで対策を講じることが、労働安全衛生規則第349条等で義務づけられています。

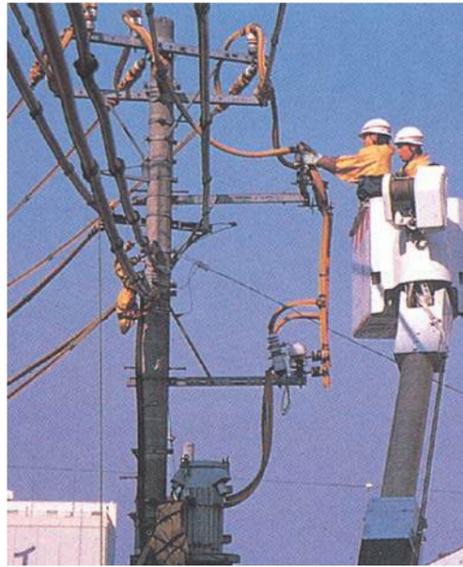
〈送電線〉



送電線は高い電圧の電気を流しておりますので、電線を支える支持物は、主に鉄塔が使われています。



防護管等の取り付け作業



ジャバラ管



建設工事用シート



建設工事用防護管

注意標識の設置例



防 護 ネット



防 護 ゲート



標 識 類

さらに



電線との間に安全な距離を保つために、専任の監視人を置いてください。

オペレーターや合図する方は、どうしても吊り荷の動きに気を取られがちになりますので、電線に対する注意がおろそかになりやすく、また、離隔距離の目測を誤ったりしやすいものです。



忘れてならないのが、アースの取り付けと転倒防止です。

アースは、万一の事故のときに電気を地面に逃がし電気ショックをやわらげるはたらきをします。なお、このアース線は、断面積が22mm²程度の太さをもった電線が必要です。また、労働安全衛生規則第173条及びクレーン等安全規則第69条～第70条の5によるものなど、転倒防止措置を施して下さい。

掘削される場合には

地面の下にも、電線(ケーブル)が埋設されている可能性があります。お近くの東京電力パワーグリッドへ連絡をお願いします。

もし災害が発生したら

①万一災害が発生した場合は、



大声で災害発生をまわりの人たちに知らせて下さい。

吊り荷や車体などには絶対触ってはいけません。

運転席が設置されているクレーンなどでは、玉掛作業員や補助者の感電災害が拡大しないようにオペレーターはあわてずに、**接近・接触している部分を電線から遠ざけてください。**

一旦電気が止まっても再送電される場合があるため、**車上から降りる際は、人体に電気が流れるのを防ぐため車体に触れたまま、地面に足を付けないようにしてください。**



地上で操作するタイプの積載型トラッククレーンなどでは、オペレーターも感電する危険が高くなります。

クレーンなどには一切手を触れず、**ただちに警察署、消防署、東京電力パワーグリッドなど関係箇所に通報してください。**



②負傷者がいた場合、

一刻も早く応急措置をとってください。

特に感電して気を失っている場合には、**機を失せず人工呼吸や心臓マッサージが必要です。**

③電線が切れた場合、

一旦停電したとしても、すぐに送電される場合があるので、電線にはいつも電気が流れているものと考えて近づかないようにして下さい。

ただちに東京電力パワーグリッドへ通報してください。



④幸いにして負傷者が出なかったとしても、

電線に接触したり、接近しすぎて『ファン』という電撃音が聞こえた場合は、**停電が発生するとともに電線が損傷している場合があります。**

かならず東京電力パワーグリッドへ通報してください。



あとには

適切な安全措置をとらずに、人身災害や物損事故を起こしたとき…

- ・業務上過失致死傷や労働安全衛生法違反等により、懲役や罰金を科せられることがあります。
- ・送電配電設備に被害を与えた場合は、設備の復旧に要した費用やその被害に起因して発生した停電等による損害を賠償する責任を負います。

過去の感電事故例

作業中の感電事故で
 の業者書類送検
 労働基準監督署は二十五日、 町 で先月十八日に護岸工事中の作業員三人が送電線に触れ感電、手足にやけどを負った事故で、請負会社の 町、 建設工業と同社の 代表(三七)を労働安全衛生法違反の疑いで 地検に書類送検した。
 調べによると同社は、護岸工事でコンクリート打ちの作業中、送電線近くで移動式クレーンを使って作業していたにもかかわらず、監視人を置かなかつたり、感電を防止するための安全措置を怠るなど、必要な安全義務を怠っていた。

■上記感電災害は、感電負傷者を出ただけでなく、13,400戸が停電しました。

お手続きの流れ

① お申込み

- お申込み先へご連絡ください

② 現地協議

- 現地立ち合いにより、防護範囲等を協議して、見積書を送付いたします

③ 防護カバーの取付

- 防護材料はお申込み者さまにてご用意をお願いいたします

④ お支払

- 取付後、請求書を送付いたします。支払期日までにお支払いをお願いします

⑤ 防護カバーの取外し

- 防護カバーが不要となりましたら、お申込み先までご連絡ください

※取付け（取外し）工事日につきましては別途調整となります。

※取付けのお申込みは、取付け希望日の3週間前までにご連絡をお願いいたします。

なお、お申込日から取付け希望日および取付実施日までが5営業日未満（申込日除く）の場合等、緊急対応費用を頂きます。

お申込み状況や現地の作業環境等により、希望日に取付け（取外し）できない場合があります。（緊急対応も含む）

※期日までにお支払い頂けない場合は、防護カバー類の取付・取り外しの受付はできません。

東京電力パワーグリッド株式会社 ～感電災害を防ぐ～

架空電線等の近くで作業をされる場合には、感電を避けるため、各事業者さまにて感電防止措置（絶縁防護具の装着等）を講じることが、労働安全衛生規則で定められております。また、公衆に危害を及ぼさないよう建設工事を適切に施工することが建設業法で定められております。

お申し込み先

東電タウンプランニング株式会社までご連絡ください。

TEL:03-6630-9577

URL: <https://www.ttplan.co.jp/electric/bougokan.html>

受付時間：平日9時00分～17時00分

※番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いの無いようお願いいたします。

※土・日・休祝日および年末年始（12/29～1/3）はお休みさせていただきます。



東電タウンプランニング株式会社
防護管受付ホームページ

出典元 <https://www.tepco.co.jp/pg/electricity-supply/operation/distribution/pdf/henkou.pdf>

東京電力パワーグリッド株式会社



©東京電力パワーグリッド（2023年7月）